

C-4 指導案・実践内容2-(2)

1 題材 衣服の購入と整理

2 本時の学習

(1) 題目 ロールプレイによる服購入の実際

(2) 本時のねらい

・ロールプレイを通して、衣服購入の流れを知る。

(3) 準備、教材等

サイズの違う洋服（実物）、試着室、ハンガー、移動式の洋服かけ、購入の流れを提示する紙、購入者用の財布とお金（千円札、500円玉）、お店用のお金、レジ

(4) 本時の展開

時間	学習活動	指導手だて・支援	評価規準
5	1 前時の学習内容を確認し、本時の学習内容を知る。	前時に示した「服購入の流れ」を再度提示する。 本時で行うロールプレイについて説明を行う。カードを用い視覚的に訴え、イメージを持てるよう配慮する。 黒板を注視するよう声かけを行う。	ロールプレイを通して、衣服購入の流れを知る。
5	2 お金について確認する。	本時で扱うお金を提示する。服の値段に対していくらのお金を出せばよいか質問をし、確認する。 わからない生徒に対しては、個別に声かけを行う。	
5	3 指導者によるロールプレイを見る。	生徒役（購入者）になり、服を買いに行く模範を示す。全部正しい手順ばかりでなく、失敗した点、困った点なども例として示していく。後で自分がするというを確認しながら行う。 販売店の店員役になり、購入者に対して対応する。	
20	4 ロールプレイにより服の購入を体験する。	自信のありそうな生徒から指名し、順次指名する。 販売店の店員役で、生徒に対応する。失敗をしても自信を失わないよう配慮しながら、臨機応変にせりふをかえる。 ●服を探そうとしていない場合 「今日は何か服をお探しですか？」 「今日はTシャツが安くなっていますけどいかがですか？」 ●試着をしたいと言えない場合 「試着もできますのでいかがですか？」 「試着をしたほうが、サイズが合っているかわかりますよ。どうぞ。」 ●お金が払えない場合 「千円札を出していただければ、おつりができますよ」 「500円玉はお持ちですか？」	
4	5 ロールプレイを行った人の良かった点を知る。	簡単にロールプレイを行った人の講評を行う。 店員さんとして「こんなお客さんがよかった」という意見を言う。	
1	6 次の時間の流れを知る。	まだロールプレイを行っていない人、終わった人を挙手させ、確認する。終わっていない人は次の時間に行くことを知らせる。	

